

# あの手この手

4月号  
2013



50年前の大和市庁舎

「大和市の」シリーズ  
今月は「～大いなる和～」です。  
3ページ「大和市の履歴」  
をご覧ください。

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。  
大和市民活動センター[拠点やまと] 第69号2013年4月1日発行



若葉の大井川鉄道駅：駿河から徳山の途中養鶏場から見た蒸気機関車です。「トンネルをぬけると…真っ黒だった！」

今期の「あの手この手」表紙は、楽しく愉快的イラストでおなじみの“夢耕作さんシリーズ”です。

大和市のイベントや学習センター、大和駅プロムナードなどでこのタッチの絵を見たことはありませんか？

大和市民活動センターでは いつでも閲覧できる100枚近くの作品があります。今「センター展」も企画しているところです。お楽しみに！

### 「夢耕作」さんでだれ？

おもしろい名前ですね。直接インタビューしてみました。  
「養魚場を営む69歳、となりの商工会議所によく来るよ！」  
「いえいえ、プロフィールをお聞きしたいのですが…」  
「下鶴間在住の“やまとっこ”。大和市商工会議所会員の長谷川賢太郎です。よろしくお願いします。」

HPでは右の金魚が迎えてくれます♪  
<http://www.sagamisuisan.com/>



### 大和市民活動センターの管理運営を通して市民活動の推進と社会資源の充実を図ります。



市民活動団体[拠点やまと]と市との協働事業による市民活動センターの運営も2期2年目を迎えます。昨年度は他市の中間支援センターを訪問し、大和らしい運営スタイルを検討しました。今年度はそれを具体化しながら進めたいと思っています。



事業では引き続き、共に育つ「共育(ともいっく)」をコンセプトに市民活動のすそ野を広げる企画を展開しながら、事業者の参加、市民活動団体同士が連携することによる社会資源の拡充にも力を入れて行きます。[拠点やまと]はセンターに来てよかったという声を励みに活動しています。ぜひ、ご来館ください。

[拠点やまと]会長 関根孝子

### <今月号掲載>

- ボランティア見学会 さよなら原発大和パレード 第8回やまと国際交流フェスティバル .....P2
- 協働事業・市民活動推進補助金提案スケジュール “大和市の”シリーズ 第57回「共育セミナー 四月こらむ」 .....P3
- FM やまと～やまとっこ☆みつけた～ 熱血編集後記 .....P4

# ボランティア見学会

3月14日(木)

～現場を見て ボランティアのきっかけ作り～

ボランティア活動に興味をもつ参加者が、大和市役所に集合。市民活動課主催のこの恒例プログラムはバスに乗っての活動見学会です。「支えあう社会をつくろう」「健康な生活の質の向上をめざそう」の呼びかけに「自分では何ができるだろうか」を考えながら活動現場を見てまわりました。

最初は「大和 YMCA ライフサポートセンター」です。若い介護士の案内で、活動や施設内を見学させていただきました。特にサポート機能のそろった浴場に感心しました。活発に高校生や一般からのボランティア募集をしているのを知りました。太鼓サークルの人が早速、訪問申込書を入手していました。



次は泉の森を歩きながら「自然観察センターしらかしのいえ」を訪問。途中の満開の河津桜では参加者同士で写真を撮ったりしていました。

この保全活動をしているボランティア団体の案内で説明を聞きながらまわりました。縁の下の力持ち、この緑や生き物は、このような人たちによる日頃の保全や保護活動のおかげだと感心しました。

最後の訪問場所、大和市民活動センターでは活動団体からのメッセージや質疑応答が行われ、「登録団体活動情報」「ボランティア情報」が配布されました。見学だけではなく、参加者同士の交流ができた有意義な1日でした。(参加者男性・66才)

登録団体「さよなら原発大和パレード実行委員会」は3月5日(火)のFMやまと「やまとっ☆みつけた」に出演。原発事故の後、子どもたちが外で遊べない様子を語りました。また大和市民活動センターを利用して何回も打ち合わせをし、チラシ制作や印刷など、前日まで忙しく準備していました。

## さよなら原発大和パレード

～未来のためにパパ・ママ歩こうよ～



原発事故発生時の状況・苦悩・家族の葛藤などを紙芝居にまとめた関ジョニーさん(福島県二本松市在住)オープニング前に大和青少年センターにて。

3月10日(日)に開催された「さよなら原発」集會に参加されたお母さん(3才と5才児もつ主婦)からの投稿です。

大和パレードでは子どもパパ・ママ、ジジ・ババ、みんなで声を合わせて「原発いらないソング」を歌い、楽器を鳴らしながら大和公園をスタート。駅周辺を一巡して「大和なでしこ広場」まで歩きました。風が強く、子どもたちの風船があちこちで飛ばされるハプニングが起き、パパが風船を追いかける風景が見られました。

あの大惨事を思い浮かべながら、子どもの手をしっかりと握ってパレードを続けました。大和警察署のお巡りさんのあたたかい交通誘導がうれしかったです。

## 第8回やまと国際交流フェスティバル

3月17日(日)大和駅前には多くの外国籍住民が集まりました。大和市民活動センターも、この国際交流イベントに参加しています。高校生・大学生14名が企画、準備から参加し、当日は「お国はどちら」など呼びかけ「一匹チュー人形劇」を披露しました。大和市には人口23万人に対して70カ国5545人(2月1日現在)の外国人登録があります。また米海軍厚木基地には数千人の関係者がいますので、いろいろな国の人どうしが交流し、理解するうえで意義のあるフェスティバルと想われます。エスニック料理の香りの漂う中、22ヶ国約200人がブースに立ち寄り、自国の国旗を描いて、高校生・大学生と交流しました。



3月9日(土)晴れ

「センター」のある日ある時

高校生ボランティア活動の打ち合わせ会がありました。終わって机を移動している時、資料の裏側に描いてある猫を見つけました。「面白いね。広報で使っていない?」「載せて、のせて。」「名前は?」「駄目!みんなにバレちゃう...後で皆をおどかしてやるの」「何描いたの?」「家の猫をこのノラ猫が毎日いじめに来るから、漫画でやっつけてやった。」「悪い猫だね!なぜ来るの?」「このノラ猫 お腹へってかわいそうだから餌やってるの...」「...」



\*「応募表明期間」  
4月8日(月)～4月19日(金)内に提案書類  
を市民活動課に提出することが必須条件です。  
注意してください。



(応募表明期間) 4月 8日(月)～4月19日(金)  
(協議期間) 4月22日(月)～5月21日(火)  
(受付期間) 5月22日(水)～5月24日(金)  
(公開プレゼンテーション) 7月 6日(土)  
(検討結果報告会) 8月30日(金)

協定書の締結後、協働事業の実施は原則として  
平成26年4月からのスタートで活動期間は3年間と  
なります。



## “大和市の” シリーズ

### 「履歴」：大いなる和

町村制が施行されて、今の市域には鶴見村、  
渋谷村の2つの村となりました。でも下鶴間村、  
深見村、上草柳村、下草柳村、上和田村の一  
部が合併してできた鶴見村では分村問題が発  
生し、1891年(明治24年)に村名を大和村と改  
称し「大和」の名が生まれました。

色々な町村の動きもあり、1956年(昭和31  
年)大和町が渋谷村を編入合併して現在の大  
和域ができました。

大和町が市制を施行して「大和市」となったの  
は1959年(昭和34年)。今でも地名が沢山残っ  
ています。鶴間の「鶴」、深見の「見」とった「鶴  
見村」…きっと鶴舞の里、のどかな地区だったの  
でしょうね。

(応募表明期間) 4月 8日(月)～4月19日(金)  
(協議期間) 4月22日(月)～5月 2日(木)  
(受付期間) 5月 7日(火)～5月10日(金)  
(公開選考会) 6月 1日(土)

平成25年4月1日～平成26年3月31日の活動や事  
業が対象となります。公開選考会(6月1日)までに完了  
する活動は対象となりません。

区分:「めばえ」これからの活動 補助金 5万円上限  
「はぐくみ」活動発展のため 補助金 20万円上限

詳しい情報は大和市 HP をご覧ください。  
大和市市民活動課 電話 046-260-5103  
または市民活動センターにお問い合わせください。

## 「収支計算書」から「活動計算書」へ 3月19日(火)

### ～NPO会計「活動計算書」の作り方～

昨年4月の「改正NPO法」には多くの関心が寄せ  
られました。今回は大和市民活動センター登録団体  
の「一般社団法人 公益アシストかながわ」理事・税理  
士の板倉幸子さんの第57回『共育セミナー』として開  
催しました。「NPO法人会計基準ハンドブック」に沿っ  
て分かり易い解説と具体的な例(ボランティア受入評  
価益/費用、施設等受入評価益/費用や事業別損益  
表など)を知り、活動の大きさが正しく評価される表記  
だと思いました。時間内では「活動計算書」「貸借対  
照表」「注記」「財産目録」など概要を学び、続く3月  
28日(木)には個別の『無料相談会』を設けていただ  
き、3団体の相談がありました。

## イーパーツ・リユースパソコン寄贈プログラム

3月16日(土)藤沢市市民活動推進センターにて  
藤沢・茅ヶ崎・小田原の17市民活動団体へ20台のパ  
ソコン寄贈式がありました。当センターも神奈川県に  
広めていく為にこのプログラムに参加します。内容の詳  
細・申込書などは後日連絡いたします。

募集 : 6月 16日(日)～7月 21日(日)  
審査会: 8月 5日(月)  
寄贈式: 8月 27日(火)

## 四月ごらぬ

大木たいぼく  
サンドイッチセンター



大和駅に着く寸前、小田  
急江ノ島線上りの車窓左側  
に数秒間見ることができ  
大和市民活動センター。  
プレハブ屋根の右側にあ  
る大イチョウと屋根にくっ  
つくような大ケヤキも同時  
に確認できます。  
どちらも樹齢七、八十年  
以上でしょうか、どっしり  
と立ち、堂々と枝を空に向  
かって伸ばしています。

平屋づくりの「センター」  
はこの二本の大木に挟まれ  
てちゃんまり「存在」してい  
ます。

三月下旬、今二本の大木  
は幹と枝のみの姿。一枚も  
葉をつけていません。ここ  
ろが、これが四月も下旬に  
なる頃は……。

(ラジオネーム:毛が三本)



